

第2章

公衆衛生

1 公衆衛生の概念

公衆衛生とは共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康と能率の増進をはかる科学・技術である。「健康」とは身体的、精神的、社会的に完全に良い状態にあることで、単に疾病または虚弱でないということではない。

2 疫学と衛生統計

■ 我が国の主な統計（2023年）

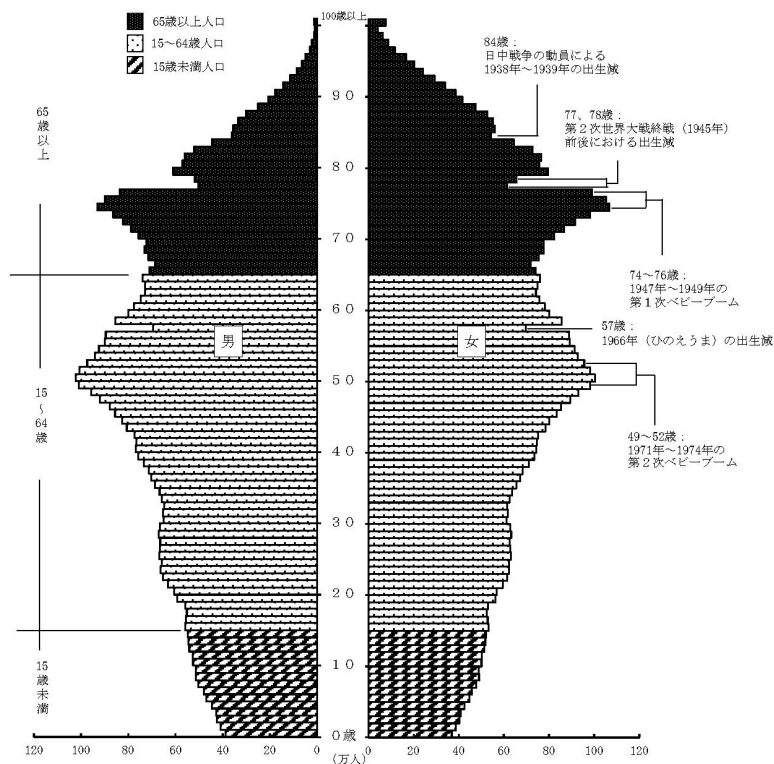
総人口：1億2435万2千人（減少）

年少人口（15歳未満）割合：11.4%（過去最低）

生産年齢人口（15～64歳）割合：59.5%（昨年より0.1ポイント上昇）

老年人口（65歳以上）割合：29.1%（過去最高）

我が国の人口ピラミッド（2023年10月1日現在）



出典：総務省統計局HP (<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2023np/index.html>)

■ 人口動態調査項目

出生、死亡、死産、婚姻、離婚

■ 死因順位（2023年）

1位：悪性新生物（24.3%）

2位：心疾患（14.7%）

3位：老衰（12.1%）

4位：脳血管疾患（6.6%）

肺炎、誤嚥性肺炎、不慮の事故、腎不全など

■ 悪性新生物部位別死亡順位（2023年）

	1位	2位	3位
男性	肺	大腸	胃
女性	大腸	肺	膵臓

3 保健活動

予防医学の概念

一次予防	健康増進、疾病の予防（健康増進活動、健康教育、栄養改善、予防接種）
二次予防	疾病の早期発見、早期治療（定期健康診断、がん検診、治療医学）
三次予防	疾病の再発防止と社会復帰（リハビリテーション）

感染症の分類

1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マーブルグ病、ラッサ熱
2類感染症	急性灰白髄炎、ジフテリア、結核、重症急性呼吸器症候群（SARS）、鳥インフルエンザ（H7N9）、鳥インフルエンザ（H5N1）、中東呼吸器症候群（MERS）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症、コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス
4類感染症	E型肝炎、A型肝炎、黄熱、狂犬病、マラリア等 動物や飲食物等を介して人に感染し国民の健康に影響を与えるおそれのある感染症
5類感染症	インフルエンザ、麻疹、AIDS等 国が感染症発生動向調査を行うもの。

4 生活習慣病

食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣がその発症・進行に関与する疾患群。